

単元デザイン FIRST STEP —小学校外国語科—

1 単元デザインは何のため？

- 学習指導要領では、資質・能力を育成するため、単元や題材などの内容や時間のまとまりの中で「主体的・対話的で深い学び」を実現することが大切だと示されています。
- 「指導と評価の一体化」の観点から、単元（複数単元）の指導と評価の計画を作成することが求められています。
- 教師が児童に身に付けさせたい資質・能力を明確にし、意図的・計画的に授業づくりを行うことができます。
- 児童が見通しをもって主体的に学習に取り組むことができます。



2 単元デザインの手順と各段階のポイント

※単元ゴールから逆向き設計（バックワードデザイン）で、1時間ごとの授業につながりをもたせながら単元をデザインします。

単元デザインの手順に沿って、各段階のポイントを押さえているか□に✓を付けて確認しましょう。

※「逆向き設計（バックワードデザイン）」…目指す児童の姿をゴールとして、必要な題材や言語活動を考え、単元を組み立てる考え方。

① 単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、単元の目標を考えます。

- 学習指導要領の目標や内容、小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語活動・外国語編を踏まえている。
- 児童の実態や前単元までの学習状況を踏まえている。
- 「*CAN-DO リスト」に基づいている。
- ※ 「CAN-DO リスト」…学習到達目標を「～することができる」の能力記述文で書き表し、五つの領域（「聞くこと」「読むこと」「話すこと[発表]」「話すこと[やり取り]」「書くこと」）ごとにリスト化されたもの。

② 単元ゴールの言語活動を決めます。

- コミュニケーションを行う目的や場面、状況などが明確である。
- 相手意識をもち、コミュニケーションの楽しさを実感できる活動を設定している。

③ 単元ゴールの児童の具体的な姿から、単元の評価基準（ルーブリック）を設定します。

- 観点別に目指す児童の姿を具体的に考えている。

④ 単元ゴールの言語活動に向けた*ステップアップの言語活動を各時間に設定します。

- 言語材料について理解したり練習したりするための指導（チャンツやゲームなど）とは区別している。
- ※ 「ステップアップの言語活動」…単元ゴールの言語活動に向けて、児童がステップアップしていくように設定された各時間の言語活動のこと。

⑤ 各時間に行う言語活動等を配列し、指導と評価の計画を作成します。

- 単元の1時間目から言語活動が授業の中心となるように設定している。

単元デザインの具体(例)

上記の手順を踏まえ、単元デザインの具体(例)を以下に示します。



① 単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、単元の目標を考えます。

学習指導要領やその解説と照らし合わせながら、当該単元が年間計画のどこに位置付けられているかを確認します。「CAN-DO リスト」や取り扱う題材、言語材料、児童の実態などを踏まえ、単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明らかにし、単元の目標を設定します。

【具体例】 5年「自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう」

題材は、道案内。

既習表現を活用してコミュニケーションを図ることができるといいな。

「CAN-DO リスト」における目標は、「互いの伝えたいものについて知り合うために場所や位置などについて、尋ねたり答えたりして伝え合えることができる」になっているな。

お気に入りの場所について友達に質問をしたり、質問に答えたりして、互いのお気に入りの場所について伝え合えるといいな。

単元を通して身に付けさせたい資質・能力

お気に入りの場所について、その場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合う。

単元の目標

互いのお気に入りの場所について知り合うために、相手に伝えるように工夫しながら、建物や施設の場所や位置などについて、質問したり質問に答えたりして伝え合うことができる。

※ 本事例では、話すこと[やり取り]に特化して説明します。

② 単元ゴールの言語活動を決めます。

単元ゴールの言語活動は、授業づくりにおいて根幹をなす最も重要なものです。次の4つの視点を踏まえて、単元ゴールの言語活動を設定しましょう。

単元ゴールの言語活動を設定する4つの視点

- 伝え合う目的や必然性がある。
- 相手意識をもって取り組むことができる。
- 実際に自分や相手の気持ちや考えを伝え合う「本物」のコミュニケーションである。
- 伝え合うことの喜びや意義を見出すことができる。

自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう。

I 伝え合う目的や必然性
私は読書が好きだと伝えたいから、お気に入りの図書館に案内しよう。
Go straight. Turn right. This is the library. I like reading books.
You like reading. Me, too.

III 「本物」のコミュニケーション
Aさんは図書館がお気に入りの場所なんだ。読書が好きだという理由も教えてくれてうれしいな。

II 相手意識
Aさんとぼくの共通点が見付かったぞ。どのような本が好きか尋ねようかな。

IV 伝え合うことの喜びや意義

直山 木綿子 監修 「小学校外国語教育の指導と評価」p.38を基に作成

上記の4つの視点を踏まえ、単元ゴールの言語活動を以下のように設定しました。

題材	内容
自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう。	互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて伝え合う活動に取り組む。



③ 単元ゴールの児童の具体的な姿から、評価基準（ルーブリック）を設定します。

評価場面となる活動（単元ゴールの言語活動）に取り組む児童の姿を思い浮かべ、「おおむね満足できる」状況（b）と評価できる状況を具体的に文章に表します。その後、「十分満足できる」状況（a）と評価できる状況を検討し、記述します。さらに、その状況でどのような英語表現を用いているか具体的に英文に表します。

【評価基準（ルーブリック）の例】（6/7時）

	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a	互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手の反応に応じて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりしてさらに詳しい内容についても伝え合っている。	互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手の反応に応じて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりしてさらに詳しい内容についても伝え合おうとしている。
b	互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合っている。	互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合おうとしている。
c	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。

※6/7時では、話すこと（やり取り）の思考・判断・表現と主体的に学習に取り組む態度を評価します。知識・技能は5/7時に評価します。

単元を通して身に付けさせたい資質・能力を評価するための言語活動や評価基準（ルーブリック）を明確に設定すると、単元を通して教師が指導すべきことも明確になります。また、妥当性、信頼性を備えた評価を行うために、児童の実態を踏まえた上で、学年の教師で話し合って作成し、共通理解を図ることが大切です。



④ 単元ゴールの言語活動に向けたステップアップの言語活動を各時間に設定します。

単元ゴールの言語活動に向けて、各時間にステップアップの言語活動を設定します。その際、「言語活動を通して」資質・能力を育成するという外国語科の目標を踏まえ、単元ゴールの言語活動に向けて、ステップアップの言語活動を塗り重ねていく「漆塗り型」での指導を展開することが大切です。

単元デザインの在り方

言語材料を身に付けるための練習後、目的や場面、状況などに合わせて活用するという順序立てて学習を積み上げていく「ブロック型」の指導展開

実際のコミュニケーションの中で言語材料を活用しながら単元ゴールの言語活動に向けて必要な力を身に付けていくことを目指す「漆塗り型」の指導展開

【これまでの外国語活動・外国語科のイメージ】

第4時	単元ゴールの言語活動
第3時	単元ゴールの言語活動のための練習
第2時	新しい語句や表現の練習(チャンツ、ゲームなど)
第1時	新しい語句や表現の練習(チャンツ、ゲームなど)

【「言語活動を通して」求められる資質・能力を育成する
これからの外国語活動・外国語科のイメージ】

第5時	単元ゴールの言語活動
第4時	・新しく出合った語句や表現などを使った言語活動
第3時	・新しく出合った語句や表現などを使った言語活動
第2時	・新しく出合った語句や表現などを使った言語活動
第1時	・新しく出合った語句や表現などを使った言語活動 ・単元ゴールの見通しをもつ。



「令和4年度小学校における外国語教育指導者養成研修」(直山木綿子) 講義資料を基に作成

⑤ 各時間に行う言語活動等を配列し、指導と評価の計画を作成します。

単元を通して身に付けさせたい資質・能力に迫るために、④で示した「漆塗り型」での指導展開を意識しながら、効果的に言語活動等を配列することが大切です。また、次に示す「指導と評価の計画を作成する際のポイント」を踏まえ、指導と評価の計画を作成しましょう。単元における評価場面の設定等については、「学習評価の進め方」及び「学習評価 FIRST STEP」を御参照ください。

指導と評価の計画を作成する際のポイント

- ① 単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、児童に単元の見通しをもたせる場面を設定します。
- ② 単元を通して、単元ゴールの言語活動に向かって、言語活動と指導を繰り返し行います。
- ③ 単元を通して、児童の学習状況を適宜把握する場面を設定します。
- ④ 単元末に、単元ゴールの言語活動を設定します。
- ⑤ 単元の学習を振り返る時間を設定し、児童の学習改善や教師の指導改善につなげます。

単元の指導と評価の計画(例)

時	目標(◆) 活動内容(○)	評価(・) <評価方法>			
		知	思	主	主
1 (本時)	◆建物や施設の場所を表す英語表現を聞いたり言ったりすることができる。 ○Small Talk: 故郷のお気に入りの場所 指導者の話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。 ○自分のまちのお気に入りの場所を伝え合うという単元ゴールの言語活動への見通しをもつ。 ○地区内で指導者のお気に入りの場所について具体的な情報を聞き取る。 ○建物や道案内の英語表現に慣れ親しむ。 ○学校の周辺には、どこにどのような建物があるのか伝え合う。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。			[指導に生かす評価]
2	◆建物や施設の言い方や道案内の英語表現を聞いたり言ったりすることができる。 ○Small Talk: 様々な場所 指導者の話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。 ○Let's Listen 3 人物の様子からどこに案内したらよいか考える(予想)。音声聞いて確かめる。地図上で建物までの道案内をする。 ○Let's Play 3 目的に合わせて道案内する場所を考え、道案内をする。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。			[指導に生かす評価]
6	◆互いのお気に入りの場所について知り合うために、相手に伝わるように工夫しながら建物や施設の場所や位置などについて伝え合うことができる。 ○Small Talk: お気に入りの場所 指導者が伝える学校や児童についての話を反応しながら聞く。伝える内容の構成、英語表現、伝えるときの態度や表情、ジェスチャーなどの音声以外の非言語情報の観点からよくできている点、工夫が必要な点を考える。 ○相手に伝わるように工夫しながら自分のまちのお気に入りの場所へ道案内し合う。	・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合っている。 【思】<行動観察・振り返りカード記述分析> ・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合おうとしている。 【主】<行動観察・振り返りカード記述分析> 【記録に残す評価]	や	や	
7	◆音声で十分に慣れ親しんだ単語を書き写すことができる。 ○Let's sing abcd Song ○単語を書き写す。指導者が言う単語のカード選び、4線上に正しく書き写す。 ○単元の学習を振り返る。	本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。			[指導に生かす評価]

① 単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、児童に単元の見通しをもたせる場面を設定します。

② 単元を通して、単元ゴールの言語活動に向かって、言語活動と指導を繰り返し行います(緑の枠囲み全て)。

③ 単元を通して、児童の学習状況を適宜把握する場面を設定します。

④ 単元末に単元ゴールの言語活動を設定します。

⑤ 単元の学習を振り返る時間を設定し、児童の学習改善や教師の指導改善につなげます。

小学校第5学年 外国語科学習指導案

1 単元名 自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう

2 単元について

(1) 単元観

本単元は、建物や施設の名前や部屋にある物、位置関係などを表す前置詞、道案内の英語表現などを学び、それらを用いて相手に伝わるように工夫しながら、建物や施設の場所や位置などについて質問したり質問に答えたりして伝え合うことができるようにすることをねらいとしている。4年時の外国語活動“**This is my favorite place.**”の単元で、児童は、学校内のお気に入りの場所へ案内したり、その場所について伝え合ったりする学習を行っている。このときに慣れ親しんだ方向や動作を表す表現を想起させながら学習を進めることで、系統性をもって指導することができる。単元ゴールの言語活動は、「自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう」と設定し、本単元で扱う言語材料に加え、“**I like~.**”や“**I can~.**”などの既習事項も活用し、ペアで案内し合う。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確に設定することで、相手の理解の状況を確認めながら建物や施設の場所や位置などについて質問したり質問に答えたりして伝え合うなど、相手意識や目的意識をもってやり取りすることができる単元である。

(2) 児童観

(略)

(3) 指導観

指導に当たっては、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを明確にした単元ゴールの言語活動を設定することで、児童が単元ゴールの言語活動に対する相手意識や目的意識をもつことができるようにする。本単元では、単元のゴールの言語活動を「自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう」と設定し、そこから逆引き設計で1時間ごとの目標を定め、活動を組み立てながら単元を構成する。

まず、単元の導入では、単元を通して身に付けさせたい資質・能力を明確にし、児童が単元の見通しをもつことができる場面を設定する。その際、**Small Talk**において、児童が指導者の話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く活動を通して、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを理解し、本単元で扱う道案内の英語表現の必要性を感じることができるようにする。また、“**I like~.**”や“**I can~.**”などの既習表現を活用することでさらに情報を加えて伝えることができるという気付きを促す。

次に、ステップアップの言語活動を行う段階では、単元ゴールの言語活動に向かって、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などを意識しながら道案内の英語表現を聞いたり言ったりする言語活動と指導を繰り返し行う。その際、道案内をする側と道案内をされる側の両方の立場に立って活動することを通してコミュニケーションを図る際の工夫について考えることができるようにしたい。

そして、単元の終末では、「自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう」という単元ゴールの言語活動を行う。その際、道案内をするだけでなく、その場所を気に入っている理由を伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたりして伝え合うようにする。この活動を通して、児童が自分のまちのよさを再発見し、ほかの人にも知ってもらおうという意欲を高めることができるようにしたい。いずれの言語活動においても中間指導を効果的に行い、児童が本単元で扱う言語材料や既習表現を活用したり、相手の理解の状況を確認めながら伝え合うなどの他者に配慮した伝え方の工夫を考えたりできるようにする。

3 単元の目標

互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、具体的な情報を聞き取ったり、相手に伝わるように工夫しながら、建物や施設の場所や位置などについて、質問したり質問に答えたりして伝え合ったりすることができる。

4 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	〈知識〉 ・建物や施設の言い方や、Where is ～？ Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left]. の表現について理解している。 〈技能〉 ・建物や施設の場所や位置について、具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。	・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置など具体的な情報を聞き取っている。	・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置など、具体的な情報を聞き取ろうとしている。
話すこと（やり取り）	〈知識〉 ・建物や施設の言い方や、Where is ～？ Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left]. の表現について理解している。 〈技能〉 ・互いのお気に入りの場所や位置などについて、建物や施設の言い方や、Where is ～？ Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left]. の表現などを用いて、尋ねたり答えたりして伝え合う技能を身に付けている。	・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合っている。	・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合おうとしている。

5 単元の指導と評価の計画

	目標（◆） 活動内容（○）	知	思	主	評価規準（・）〈評価方法〉
1 （本時）	◆建物や施設の言い方や道案内の英語表現を聞いたり言ったりすることができる。 ○Small Talk：お気に入りの場所 指導者の話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。 ○自分のまちのお気に入りの場所を伝え合うという単元ゴールの言語活動への見通しをもつ。 ○指導者のお気に入りの場所について具体的な情報を聞き取る。 ○建物や施設、道案内の英語表現を聞いたり言ったりする。 ○学校周辺には、どこにどのような建物や施設があるのか伝え合う。				本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。 [指導に生かす評価]

<p>2</p>	<p>◆建物や施設の言い方や道案内の英語表現を聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Small Talk：様々な場所 指導者の話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。</p> <p>○Let's Listen 3 人物の様子からどこに道案内をしたらよいか考える。 音声を聞いて確かめる。 地図上で建物や施設までの道案内をする。</p> <p>○Let's Play 3 目的に合わせて道案内をする場所を考え、地図上で道案内をする。</p>		<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> <p>[指導に生かす評価]</p>
<p>3</p>	<p>◆部屋にある物の場所や位置関係を表す表現を聞いたり言ったりすることができる。</p> <p>○Let's Play 5 ポインティング・ゲームをする。 指導者が言うものを指し示す。</p> <p>○Let's chant 3 on in under by の表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>○Let's Play 6 ヒントを聞いて、友達の探し物を当てる。</p>	<p>聞</p>	<p>本時では、[話すこと [やり取り]] については、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> <p>・建物や施設の言い方や、Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left]. の表現について理解している。【知】〈行動観察・メモや振り返りカード記述分析〉</p> <p>[記録に残す評価]</p>
<p>4</p>	<p>◆互いに宝物の場所や位置など、宝物である理由を尋ねたり答えたりして伝え合うことができる。</p> <p>○Small Talk：宝物 指導者の話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。</p> <p>○Let's chant 2 場所や位置などを尋ねたり答えたりする英語表現を聞いたり言ったりする。</p> <p>○Let's Play 7 自分の宝物の場所へ道案内をし、宝物である理由を伝える。</p>	<p>聞 聞</p>	<p>本時では、[話すこと [やり取り]] については、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p> <p>・互いの宝物が何か知り合うために、場所や位置など具体的な情報を聞き取っている。【思】〈行動観察・振り返りカード記述分析〉</p> <p>・互いの宝物が何か知り合うために、場所や位置など、具体的な情報を聞き取ろうとしている。【主】〈行動観察・振り返りカード記述分析〉</p> <p>[記録に残す評価]</p>
<p>5</p>	<p>◆互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて伝え合うことができる。</p> <p>○地図上で自分のまちのお気に入りの場所へ道案内をする。</p> <p>○その場所を選んだ理由やお気に入りのポイントについても伝え合う。</p>	<p>や</p>	<p>・建物や施設の言い方や、Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left]. の表現について理解している。【知】〈行動観察・メモや振り返りカード記述分析〉</p> <p>[記録に残す評価]</p>

6	<p>◆互いのお気に入りの場所について知り合うために、相手に伝わるように工夫しながら建物や施設の場所や位置などについて伝え合うことができる。</p> <p>○Small Talk：お気に入りの場所 指導者が伝える学校や児童についての話を反応しながら聞く。 伝える内容の構成、英語表現、伝えるときの態度や表情、ジェスチャーなどの音声以外の非言語情報の観点からよくできている点、工夫が必要な点を考える。</p> <p>○相手に伝わるように工夫しながら自分のまちのお気に入りの場所を伝え合う。</p>		や	や	<p>・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合っている。</p> <p>【思】〈行動観察・振り返りカード記述分析〉</p> <p>・互いのお気に入りの場所について知り合うために、建物や施設の場所や位置などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて相手に伝わるように工夫しながら、質問したり質問に答えたりして伝え合おうとしている。【主】〈行動観察・振り返りカード記述分析〉</p> <p>[記録に残す評価]</p>
7	<p>◆音声で十分に慣れ親しんだ単語を書き写すことができる。</p> <p>○Let's sing abcd Song</p> <p>○単語を書き写す。 指導者が言う単語のカードを選び、4線上に正しく書き写す。</p> <p>○単元の学習を振り返る。</p>	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。児童の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が児童の学習状況を確認する。</p>			<p>[指導に生かす評価]</p>

6 本時の目標

建物や施設の言い方や道案内の英語表現を聞いたり言ったりすることができる。

7 本時の展開 (1/7)

児童の活動	指導者の活動 (○) 評価 (◎) 〈方法〉指導改善例 (●)	準備物
<p>1 指導者のお気に入りの場所についての話を、反応したり、質問に答えたりしながら聞く。</p> <p>【Small Talk】</p> <p>・○○先生は、嬉野市出身なんだ。 ・嬉野市には、素敵な場所がたくさんあるんだな。 ・行ってみたいな。</p>	<p>○既習表現を用いたり、児童に問い掛けたりしながら話す。</p> <p>T: I like my hometown. Where am I from? I'm from . . . Please guess.</p> <p>○既習の語句や表現を使って児童とやり取りをし、その定着を図る。 ○本単元で扱う語句や表現を自然に聞いて理解できる場面を設定することで、意味の理解を促す。</p> <p>○単元ゴールの言語活動を共有する。</p>	写真
<p>2 単元ゴールの言語活動を確認する。</p>	<p style="text-align: center;">単元ゴール：自分のまちのお気に入りの場所を伝え合おう。</p>	
<p>3 本時のめあてを確認する。</p>	<p>○互いのことを理解するために、自分のまちのお気に入りの場所を伝え合うことを確認する。</p> <p style="text-align: center;">本時のめあて：どこにどのような建物や施設があるのか伝え合おう。</p>	
	<p>○学校周辺の地図を用いて、どこにどのような建物や施設があるのかを伝え合うことを確認する。</p>	学校周辺の地図

<p>4 指導者のお気に入りの場所について具体的な情報を聞き取る。</p>	<p>○児童が指導者のお気に入りの場所を予想することで、相手への興味を高めて聞くことができるようにする。</p>	
<p>・○○先生のお気に入りの場所はどこかな？ ・“library” って聞こえた。 ・なぜ図書館が好きなのかな？</p>	<p>T: You are here. OK? Turn left. Go straight. Turn right. Go straight. Go straight. Turn right. Go straight. Turn left. Go straight. You can see it on your right. What is my favorite place? C: Library? T: That's right. My favorite place is the library.</p>	
	<p>◎建物や施設の言い方や Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left]. の表現について理解している。〈行動観察・振り返りカード記述分析〉 ●どのような語句に注目して聞けばよいかを示したり、聞き取った建物や施設を指さしたり、方向をジェスチャーで示したりするよう促し、一緒に Go straight. Turn right.などの英語表現を言って音声と意味との一致を図る。</p>	
<p>5 建物や施設、道案内の英語表現を聞いたり言ったりする。</p>	<p>○ほかにどのような英語表現が聞こえてきたかを問い掛け、本時のめあてを達成するために必要な語句や英語表現に気付くことができるようにする。</p>	<p>絵カード</p>
<p>・4年生のときに学習した道案内の英語表現が聞こえた。 ・図書館以外の建物の言い方も知りたいな。</p>	<p>○道案内については、動作をしながら言うことで英語表現とその意味の理解を促す。 ○表現に不慣れな児童が安心して取り組むことができるように、音声に合わせて道案内のルートを示す。</p>	
<p>6 学校周辺には、どこにどのような建物や施設があるのか伝え合う。</p>	<p>○教科書の地図にある建物や施設は学校周辺ではどこにあるのか伝え合うことができるようにする。 ○教科書に載っていない建物や施設について、その場所を知っている児童がいれば、道案内を聞き、地図上に入力する。 ○伝えたくても英語で表現できなかったことはなかったか問い掛け、一緒に表現を考えたり表現したりする。 ○反応しながら聞いている児童を称賛し、よい聞き方として全体で共有する。</p>	<p>学校周辺の地図</p>
<p>C : Turn right. Go straight. Go straight. Go straight. oo-kouen! 「○○公園」って何と云えばいいかな。</p>		
<p>7 本時の活動を振り返る。</p>	<p>○単元のめあてを意識したり、本時にできるようになったことを振り返って次時以降の学習への見通しを立てたりしている児童を紹介して評価するとともに、ほかの児童と目指す姿を共有する。</p>	<p>振り返りカード</p>
<p>・クラスの友達のお気に入りの場所はどこだろう。 ・私のお気に入りの場所を友達に伝えたいな。</p>		

8 本時の評価規準と判定基準

本時の評価規準【評価方法】	判断のポイントと指導の手立て
<p>○建物や施設の言い方や, Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left]. の表現について理解している。【行動観察・振り返りカード記述分析】</p>	<p>「十分満足できる」状況（A）の例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物や施設の言い方や, Where is ~? Turn right[left]. You can see it on your right[left]. It's on your right[left].の表現について理解し, 場面に応じて反応しながら聞いている。 <p>「努力を要する」状況（C）と判断されそうな児童生徒への指導の手立て等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような語句に注目して聞けばよいかを示したり, 聞き取った建物や施設を指さしたり, 方向をジェスチャーで示したりするよう指示し, 一緒に英語表現を言って音声と意味との一致を図る。